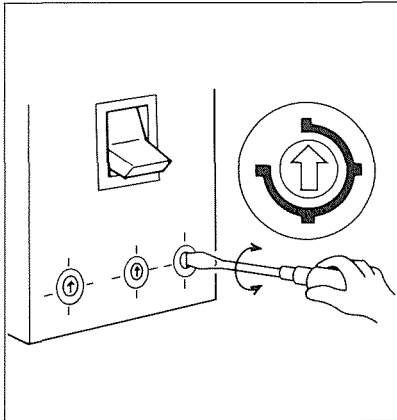


● 熱動-可調整電磁形

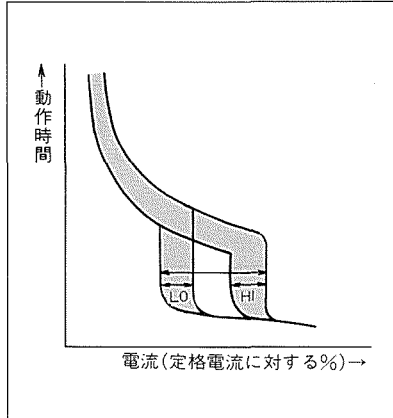
熱動-電磁形で電磁動作の動作電流値を可変できるようにしたものです。

A. 電磁動作電流の調整方法



■ **[HI]** から **[LO]** まで4段階に調整できます。
各極とも同一位置に合せて下さい。

B. 熱動-可調整電磁形の動作特性



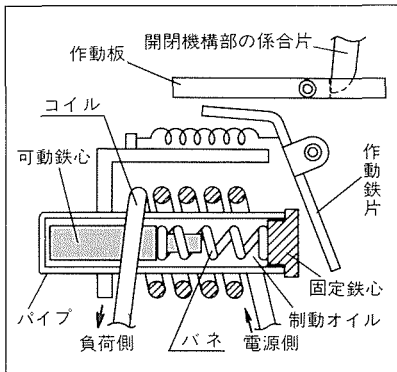
■ 工場出荷時は **[HI]** の位置に合せております。

■ 電磁動作(瞬時引外し)電流値を可調整にすることにより、電動機等の始動電流では動作しないように、またトランス一次側の電力ヒューズとの協調、下位の遮断器との保護協調等を容易に実現することができます。

● 完全電磁形

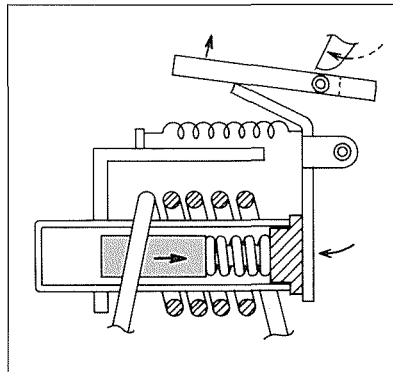
引外し素子にオイルダッシュボットを使用したもので、小容量でも容易に製作できる特長をっております。

A. 完全電磁形の構造



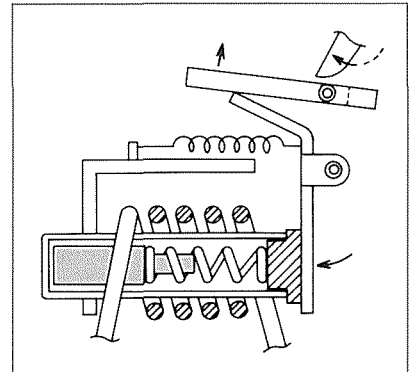
■ 構造は図の様にパイプにコイルが巻かれており、このコイルに電流が流れます。

B. 過電流が流れた場合



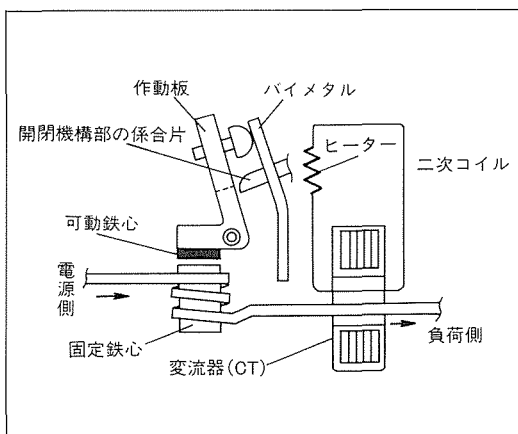
■ 過電流がコイルに流れますと可動鉄心が固定鉄心の方へ吸引されます。吸引されると磁気抵抗が減少し作動鉄片が吸引され作動板を動かし開閉機構部の係合端が外れこれに連動し可動接点が開き遮断します。

C. 大電流が流れた場合



■ 大電流がコイルに流れた場合は、可動鉄心の動きをまたず、瞬時に作動鉄片が吸引され作動板を動かします。

● 誘導加熱方式(引外し方式)



■ 商用周波数50Hz、60Hzにより、一般の遮断器の場合、特性はほとんど変化は見られませんが、大形器種で変流器を使用した誘導加熱方式においては、動作特性の変化があります。

ご注文の際には、周波数をご指定下さい。

(誘導加熱方式の遮断器をDCで使用されると瞬時遮断式遮断器となります)

◀ 誘導加熱方式の構造